

防災に関する市民オンラインアンケート

1 目的

令和8年5月29日から開始された新たな防災気象情報の運用開始に伴い、台風や地震などの災害に対する市民の皆様の日頃からの備えや、災害時の情報入手手段を把握し、今後の木更津市の防災施策の改善に役立てることを目的としています。

2 実施期間

令和8年5月7日（木）から令和8年6月12日（金）

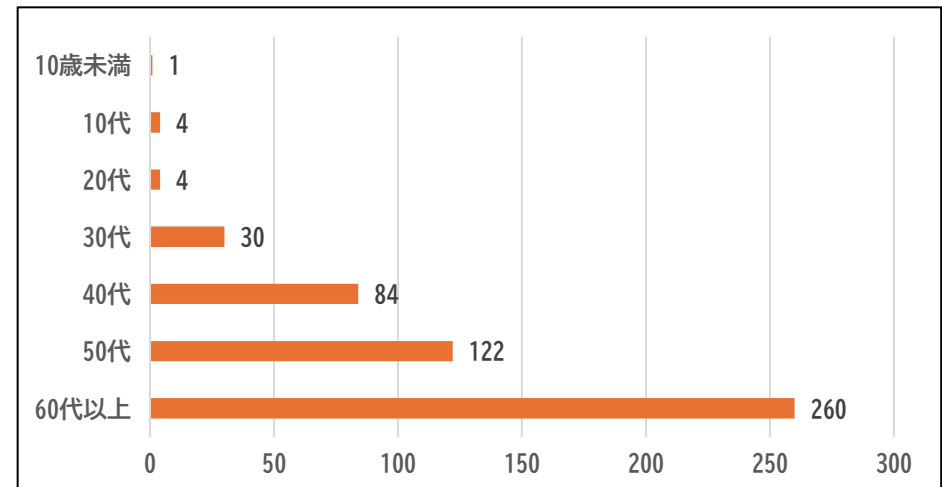
3 回答件数

505件

4 設問

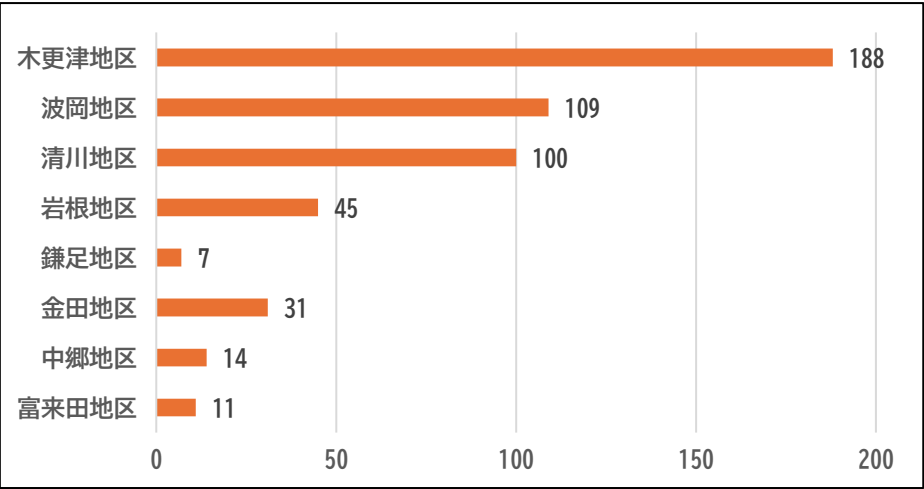
Q1. あなたの年代を教えてください。

カテゴリ	件数
10歳未満	1
10代	4
20代	4
30代	30
40代	84
50代	122
60代以上	260



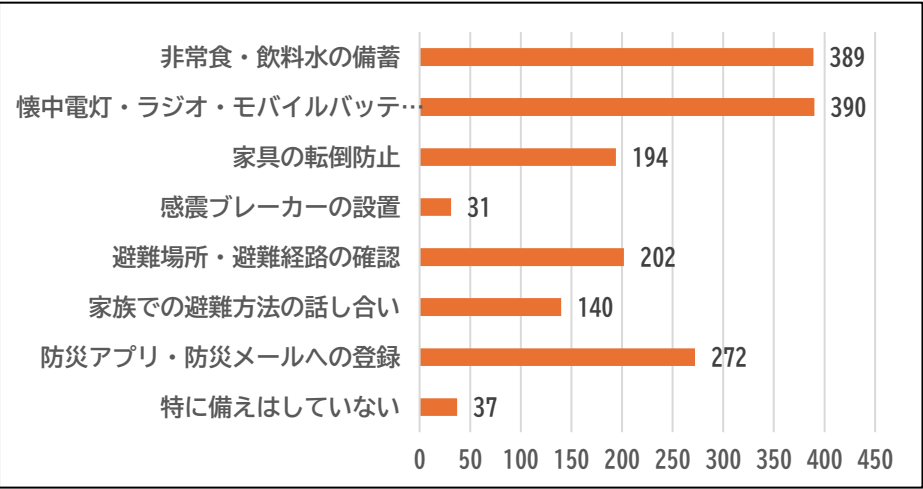
Q2. お住まいの町名を教えてください。

カテゴリ	地区名
木更津地区	188
波岡地区	109
清川地区	100
岩根地区	45
鎌足地区	7
金田地区	31
中郷地区	14
富来田地区	11



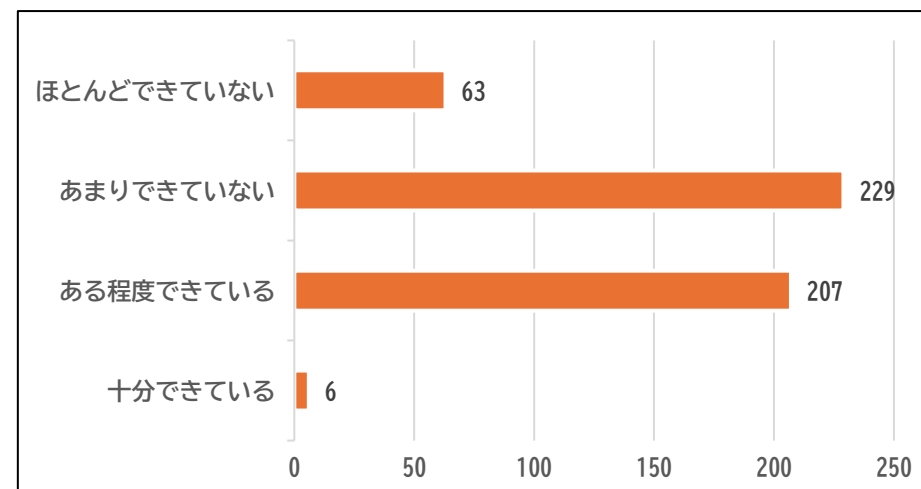
Q3. 台風や地震に備えて、普段から行っているものはありますか。(複数回答可)

カテゴリ	件数
非常食・飲料水の備蓄	389
懐中電灯・ラジオ・モバイルバッテリーの準備	390
家具の転倒防止	194
感震ブレーカーの設置	31
避難場所・避難経路の確認	202
家族での避難方法の話し合い	140
防災アプリ・防災メールへの登録	272
特に備えはしていない	37



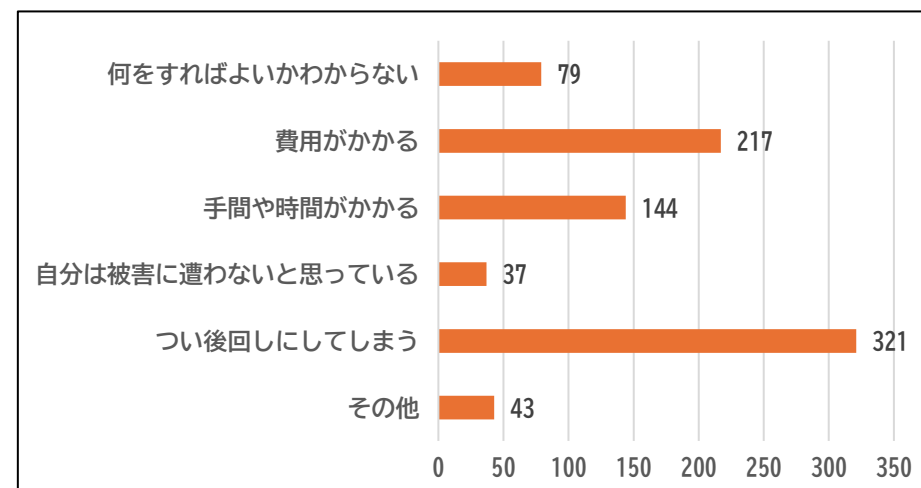
Q4. ご自身やご家族の防災の備えについて、どの程度できていると思いますか。(複数回答可)

カテゴリ	件数
十分できている	6
ある程度できている	207
あまりできていない	229
ほとんどできていない	63



Q5. 防災の備えが十分でない理由は何ですか。(複数回答可)

カテゴリ	件数
何をすればよいかわからない	79
費用がかかる	217
手間や時間がかかる	144
自分は被害に遭わないと思っている	37
つい後回しにしてしまう	321
その他	43



その他意見

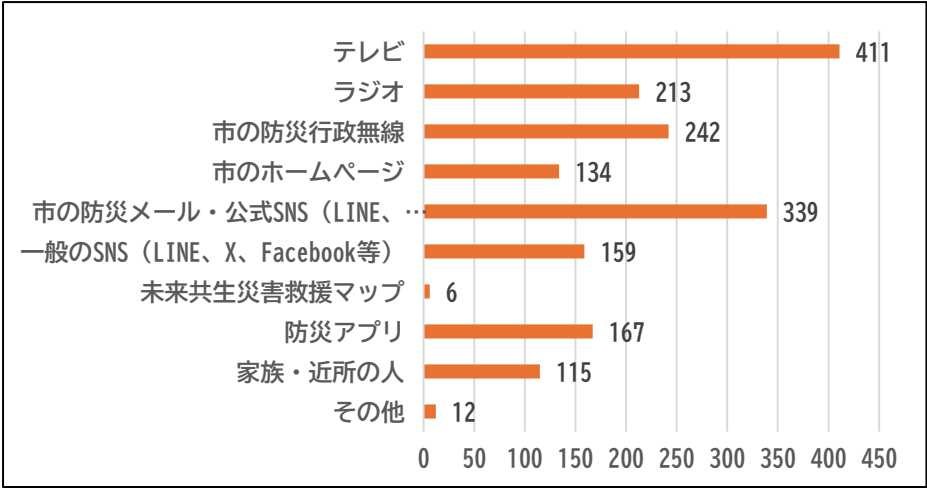
- ・ 足りないものを追加で買い足せていない。
- ・ 高齢者がいるのでそうになったら移動が大変。
- ・ 耐震工事をしたいが、費用が大きい。
- ・ どれだけやっても十分と感じないと思うから。

Q6. 災害時に、どのような手段で情報を入手していますか。(複数回答可)

カテゴリ	件数
テレビ	411
ラジオ	213
市の防災行政無線	242
市のホームページ	134
市の防災メール・公式 SNS (LINE、X、Facebook)	339
一般の SNS (LINE、X、Facebook 等)	159
未来共生災害救援マップ	6
防災アプリ	167
家族・近所の人	115
その他	12

その他意見

- ・ Yahoo ニュース
- ・ 消防団関係
- ・ 町内会・近隣の町内会等近所との情報交換

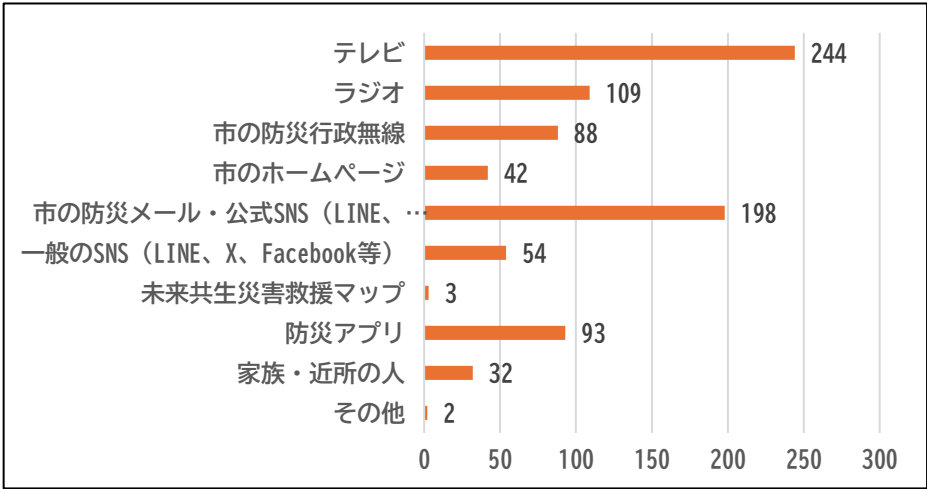


Q7. 災害時に、最も頼りにしている情報入手手段はどれですか。（複数回答可）

カテゴリ	件数
テレビ	244
ラジオ	109
市の防災行政無線	88
市のホームページ	42
市の防災メール・公式 SNS（LINE、X、Facebook）	168
一般の SNS（LINE、X、Facebook 等）	54
未来共生災害救援マップ	3
防災アプリ	93
家族・近所の人	32
その他	2

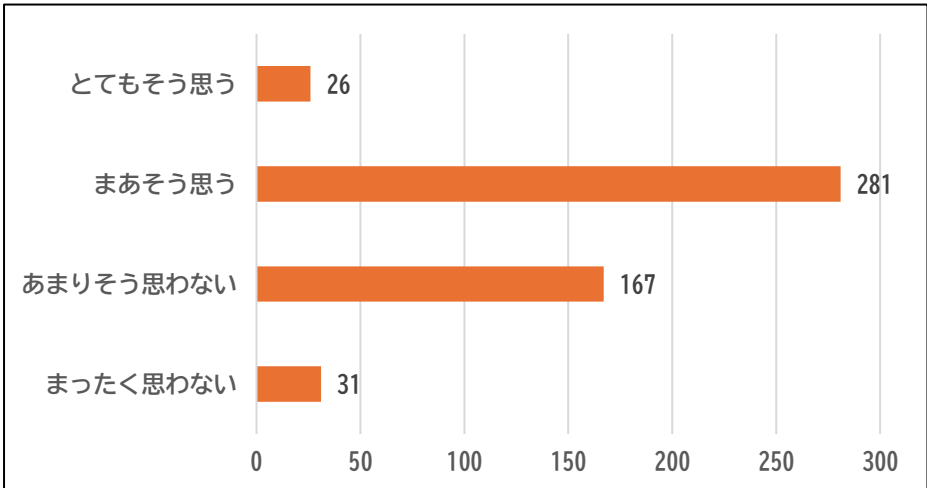
その他意見

・インターネット



Q8. 市からの防災情報は、分かりやすく伝わっていると思いますか。

カテゴリ	件数
とてもそう思う	26
まあそう思う	281
あまりそう思わない	167
まったく思わない	31

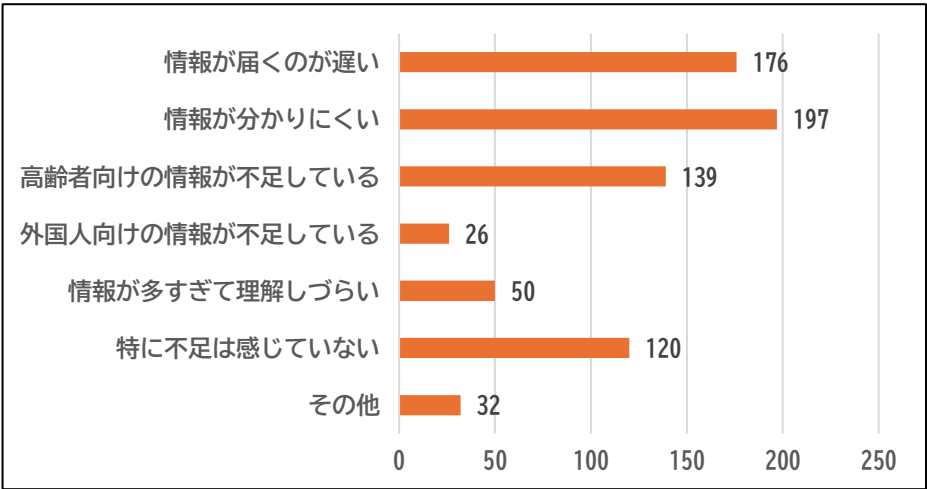


Q9. 災害時の情報伝達で、不足していると感じる点があれば教えてください。（複数回答可）

カテゴリ	件数
情報が届くのが遅い	176
情報が分かりにくい	197
高齢者向けの情報が不足している	139
外国人向けの情報が不足している	26
情報が多すぎて理解しづらい	50
特に不足は感じていない	120
その他	32

その他意見

- ・防災行政無線が聞こえない、聞き取りづらい。
- ・自分に必要な情報だけ欲しい。
- ・テレビやインターネットの方が早く、市の速報は頼りにしていない。
- ・津波の際の避難場所をきちんと知りたい。
- ・まだ遭ったことがないのでわからない。



Q10. 市の防災対策や情報発信について、ご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。（自由記述）

○避難所等に関すること

- ・避難場所が少ない・遠いので高齢者は移動が難しい。
- ・津波時など状況に応じた避難場所が分からない。
- ・避難所の収容人数や受け入れ体制に不安がある。
- ・災害時にどのタイミングで避難すればいいのか分からない。

○訓練に関すること

- ・実際の災害を想定した訓練になっていない。
- ・市民参加型の訓練が不足している。
- ・訓練が形式的で現実と乖離している。
- ・防災訓練や講習をもっと増やしてほしい。

○備蓄に関すること

- ・避難所の備蓄が足りているか不安。
- ・食料や水の必要量が分からない。
- ・非常持ち出し袋の普及が不十分。
- ・防災用品購入への補助や支援がほしい。

○防災意識に関すること

- ・災害が少なく実感がわかない。
- ・防災意識が低く後回しになりがち。
- ・自助の意識が十分に浸透していない。
- ・行政任せ・他人任せの意識がある。

○情報・広報に関すること

- ・防災行政無線が聞き取りにくい。

- ・情報が遅い・リアルタイム性に欠ける。
- ・内容が分かりにくく具体性がない。
- ・LINE や SNS など多様な手段での発信強化が必要。

○ペット避難に関すること

- ・ペットと一緒に避難できる場所が分からない。
- ・車中避難や専用エリアの整備を望む。
- ・同行避難ができないなら避難できない。
- ・ペット対応の避難施設の詳細情報がほしい。

○その他災害時の不安に関すること

- ・停電や通信障害時に情報が得られない不安。
- ・高齢者や障害者が避難できるか心配。
- ・自宅や周辺環境への不安。
- ・市の対応が機能するか不信感がある。